



「ラストスパート」

校長 山内 数正

寒い日が続いていますが、日差しの明るさに春が近づくのを感じられる頃となりました。月日の経つのは早いもので、平成27年度もいよいよ最後の月となりました。

卒業・進級という学校の大きな節目の月はあわただしく、また悲喜こもごもの月でもあります。昨年4月着任させていただいて以来、教職員と力を合わせて本校教育の進展に努力してきたつもりですが、保護者の皆様の思いや願いを十分に受け止めた学校運営ができたかどうか問われる時期でもあります。

学校での子供たちの様子を見ると、学びの成果が随所に表れ、目を細めることもしばしばです。育ちの確かさを見ると、この職にあることの幸せを感じます。

そんな成長と言えるお話を一つ。

朝会で朝のあいさつと話をする、次の日から校門に立っている私を見つけて、遠くからでも元気よくあいさつしてくれる子、立ち止まって顔を見てお辞儀をして「おはようございます。」とあいさつしてくれる子がとても多くなりました。寒い朝でも心はとても暖かくなり、自然と笑顔になります。また、寒さに負けず1日に1回は外に出て遊ぼうと話をする、ぶつからないかと心配になるくらいたくさんの子供たちが遊ぶようになりました。すぐに行動に移す素直な若宮っ子はとっても素敵です。

発熱などで、残念ながら全員参加ではありませんでしたが、2月の21日（日）から3日間、6年生がハチ高原に冬季野外活動に行きました。暖冬の影響で雪の心配、さらにはインフルエンザの心配をしていますが、1日目は雪、2日目、3日目は晴れと天候に恵まれ、病気や怪我で病院へ行く子もおらず、少し日焼けをしてたくましくなっていました。インストラクターの方にお褒めの言葉をいただくほどスキーの技術の上達ぶりはめざましく、どの子も思う存分スキーを楽しむことができました。卒業を前に、仲間との絆を深めて有意義な活動となりました。

平成27年度も残りわずか。子供たちの学びの姿がさらに輝き、共に育っていく笑顔で明るく元気な活力ある学校づくりに、全職員が一致協力してラストスパートをかけていきます。

この1年、保護者の皆様、地域の皆様にご支援を賜り、子供たちが健やかに成長していることをうれしく思っています。改めて心より感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました。

